

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-536908(P2004-536908A)

【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2003-503748(P2003-503748)

【国際特許分類】

C 0 9 K	3/00	(2006.01)
A 6 1 K	8/72	(2006.01)
A 6 1 K	8/02	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
C 0 8 G	18/00	(2006.01)
C 0 8 J	9/14	(2006.01)
C 0 9 K	3/30	(2006.01)
C 0 9 K	5/04	(2006.01)
C 1 1 D	7/24	(2006.01)
C 1 1 D	7/30	(2006.01)
C 1 1 D	7/60	(2006.01)
C 1 1 D	17/08	(2006.01)
C 0 8 G	101/00	(2006.01)
C 0 8 L	75/04	(2006.01)

【F I】

C 0 9 K	3/00	1 1 1
A 6 1 K	7/00	J
A 6 1 K	7/00	S
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	47/06	
A 6 1 K	47/34	
C 0 8 G	18/00	H
C 0 8 J	9/14	C F F
C 0 9 K	3/30	
C 0 9 K	5/04	
C 1 1 D	7/24	
C 1 1 D	7/30	
C 1 1 D	7/60	
C 1 1 D	17/08	
C 0 8 G	18/00	H
C 0 8 G	101/00	
C 0 8 L	75/04	

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月14日(2004.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

本質的に約1～約50重量%の水、約1～約50重量%の2-メチルブタン、約1～約50重量%のHFC-245faおよび約97～約10重量%の1,1,1,2-テトラフルオロエタンからなり、14.61 p s i aで-25.80 ± 4の沸点を有する、共沸混合物様組成物。

【請求項 2】

本質的に約1～約25重量%の水、約1～約25重量%の2-メチルブタン、約1～約25重量%のHFC-245faおよび約97～約40重量%の1,1,1,2-テトラフルオロエタンからなる、請求項1に記載の共沸混合物様組成物。

【請求項 3】

本質的に約1～約10重量%の水、約1～約10重量%の2-メチルブタン、約1～約10重量%のHFC-245faおよび約97～約70重量%の1,1,1,2-テトラフルオロエタンからなる、請求項1に記載の共沸混合物様組成物。

【請求項 4】

請求項1に記載の共沸混合物様組成物を含む発泡剤組成物。

【請求項 5】

請求項1に記載の共沸混合物様組成物を含む揮発性発泡剤の存在下反応してポリウレタンおよびポリイソシアヌレートフォームを生成する成分の混合物を反応させ、発泡させることを含む、ポリウレタンおよびポリイソシアヌレートフォームを製造する方法。

【請求項 6】

請求項1に記載の共沸混合物様組成物を含む発泡剤の存在下ポリイソシアネートもしくはポリイソシアヌレートを発泡させることにより調製される独立気泡フォーム組成物。

【請求項 7】

ポリオールおよび請求項1に記載の共沸混合物様組成物を含む発泡剤のプレミックス。

【請求項 8】

被噴霧材料および請求項1に記載の共沸混合物様組成物を含む噴射剤を含む霧化し得る組成物。

【請求項 9】

1,1,1,2-テトラフルオロエタン、HFC-245fa、2-メチルブタンおよび水の混合物を蒸留して、共沸混合物の過剰濃度で存在する1,1,1,2-テトラフルオロエタンから本質的に1,1,1,2-テトラフルオロエタン、HFC-245fa、2-メチルブタンおよび水からなる共沸混合物もしくは共沸混合物様組成物を分離することを含む、1,1,1,2-テトラフルオロエタンから水を除去するプロセス。

【請求項 10】

前記蒸留工程を実施する前に、1,1,1,2-テトラフルオロエタン、HFC-245fa、2-メチルブタンおよび水の前記混合物を相分離してバルク量の水を除去する、請求項9に記載のプロセス。